

# 進歩

～2年を振り返る～



特別養護老人ホーム 誠光園（1期生）

1

## これまで

H26年～福祉用具を用いた介護開始

H29年～ノーリフティングケア委員会発足

### ノーリフティングケアに取り組む目的

「職員・ご利用者が満足する施設」

「見学に行きたくなる施設」

R1年 ノーリフティングケア委員会解散

ノーリフティングケアの目的・必要性が  
全職員に理解されていなかった

2



## 目的と必要性の大切さ

“ノーリフティングケアは  
やったほうがいい”



“業務を早く終わらせたい”  
“仕事が遅いとされたくない”

実技や道具の使い方の研修は繰り返し実施

これだけでは...

ノーリフティングケアへの意思統一は困難

大事なことが抜けていた…

- 施設がノーリフティングケアに取り組む  
目的が全職員に共有できていない
- ノーリフティングケアの必要性と目的を  
全職員が理解できていない



3

## 委員会の取り組み

### 委員会

- 施設長が統括となる
- マニュアル完成、実行
- 目標をもって計画を実行することを意識
- PDCAが循環



### リスクマネジメント

- ヒヤリハットが介護現場から抽出される
- 抽出されたリスクは各種委員会で対応
- 解決率60%以上

### 職員の健康管理

- 定期的な腰痛調査の実施
- 腰痛体操で全職員腰痛予防に取り組む
- 腰痛あり職員への個別対応



### Google・QRコードの活用

- 全職員がGoogle・QRコードが使える
- 集計作業の効率化

ヒヤリハット報告

tokuyou.kaigo@gmail.com (共有なし)

アカウントを切り替える

\*必須

気付き報告書: 回答

複数のご利用者様が関係する場合は、申し訳ございませんが、

利用者氏名\*

選択

誠光園老人ホーム職員様へ

ノーリフティングケアに関する規程

ノーリフティングケアに関するマニュアル  
6種完成

は、身体の健康な状態をなくし、利用者様の安全に留意して福祉用具を適切に使用し、ご入居者と職員との身体接触による事故を未然に防ぐための取組です。ご入居者と職員の間で発生した事故は必ずしも利用者様の安全に留意して適切な対応を講ずることが必要です。ご入居者と職員の間で発生した事故は必ずしも利用者様の安全に留意して適切な対応を講ずることが必要です。

⑥体側伸ばし  
(腕付き)  
さらに、腕を伸ばすと脇腹が伸びます

1:27 / 2:35

## 委員会の取り組み

### アセスメント・プランニング

- 介護職員と作業療法士がアセスメント実行、介助方法の決定、全職員周知、全職員実行の流れ確立
- 4種類のスタンディングリフト等の使い分け
- トイレ介助で「人力での抱え上げ」ゼロ

### 職員教育

- 目的・必要性の研修、理解度チェック実施
- ケア技術の習得+介助の姿勢をチェック、全職員合格
- 指導者2名、チェッカー2名の育成開始

### 福祉用具管理

- 介護職員がメンテナンスシステムを構築
- 劣化による買い替え、新機種導入



## 現場の進歩 ①福祉用具で移乗介助 完全統一



実技チェック  
全介護・看護職員合格



介護職員が実践  
実践中の気づきは  
ヒヤリハット抽出

身体機能評価・福祉用具選定  
介護職員が実践できる方法を評価

介護現場でヒヤリハット抽出⇒ご利用者個別のPDCA循環へ

## 現場の進歩 ②トイレでの人力抱え上げ ゼロ！

- ご利用者をアセスメントし、スタンディングリフト等を使い分け
- 介護職員一人でトイレ移乗+下衣操作+清拭が行える



H28年  
かーくん 1台  
(トイレ)



H29年・R1年  
ささえて 2台  
(トイレ)



H30年・R2年  
膝たっちC 2台  
(トイレ・着脱衣)



R2年  
Hug 3台  
(トイレ・着脱衣)

## 現場の進歩 ③人力で頑張らない入浴に近づく

**取り組み前**  
(H30年)

更衣室用リフト1台  
ハイジーンスリングシート  
電動ベッド1台  
装着が手間  
スタンディングリフト  
対象の抱え上げ残る

**1年目終わり**  
(R3年3月)

スタンディングリフト  
シャワーチェア  
浅座り  
膝たっちC  
対象者が少ない  
使い慣れず  
抱え上げ残る

**現在** (R4年2月)

- 福祉用具使用空間の確保のため少数入浴
- 福祉用具を使った入浴が確立
- 実践しながら工夫が生まれる

後輪を上げ座面を近づけ着座  
素足で滑らないためのタオル  
職員のお尻が濡れにくい

**福祉用具を使うため  
介護現場で課題解決**

**入浴でもほぼ個別対応が  
できる環境になった**

## まだ解決できない苦悩

入浴

小柄なご利用者に福祉用具を使わず  
2名で抱え上げ介助している

まだ…施設のノーリフティングケアの目的が欠けている

- ・施設長との個人面談を実施予定
- ・ノーリフティングケアの目的を再確認

## 新たな苦悩

排泄

トイレで排泄支援せず  
ベッドでパット交換  
(アセスメントと異なるケア)

臀部の清拭残しがある

入浴で臀部が洗える  
方法を模索中



福祉とは

幸福。公的扶助やサービスによる  
生活の安定、充実。

「介護・高齢者福祉」

高齢者が尊厳を保ちながら暮らし  
続けることができる社会の実現

引用：厚生労働省HPより

## 2年間の進化

取り組み開始(R2年7月)

1年目(R3年1月)

2年目(R4年1月)

項目	0年目				1年目				2年目			
	0レベル	1レベル	2レベル	3レベル	0レベル	1レベル	2レベル	3レベル	0レベル	1レベル	2レベル	3レベル
リスクマネジメント	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
職員の健康管理	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
アセスメント プランニング	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
職員教育	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
福祉用具の導入と 管理・環境整備	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3

## 憧れの存在



### アドバイザー施設

- ・ノーリフティングケアの効果を実現
- ・何度も実践アドバイスをくれる先輩
- ・“あんな風になりたい”とあこがれの存在



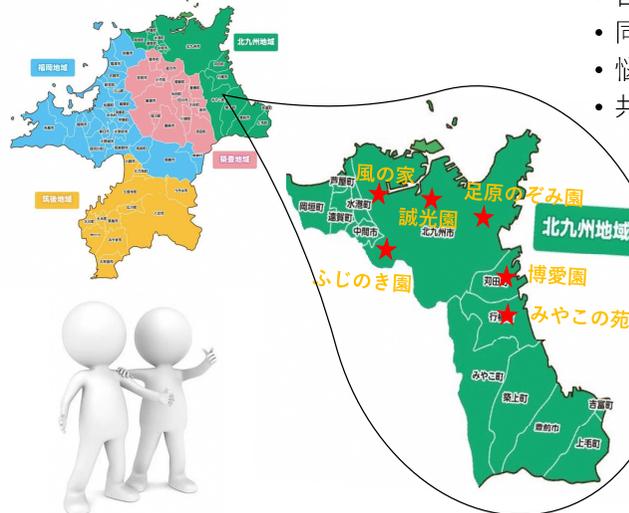
### モデル施設

- ・自施設だけが大変なわけではないと安心できる存在

### 講師陣 NPO福祉用具ネット

- ・ノーリフティングケアが実践できるようサポートしてくれる存在
- ・何度も相談できる

## 連絡協議会で繋がる



- ・自施設だけでは、挫折していたかも
- ・同じ境遇にある施設との交流
- ・悩みを理解してくれる仲間
- ・共感してもらえる場所

## 継続する励み

- ・発信基地が増える
- ・情報を広げやすい仲間を増やす